

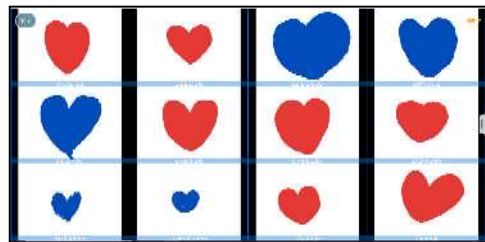
〈事例1〉

【題材名】 道徳科「きまりじゃないか」「みさきさんのえがお」「くものすとちょう」

- 【内 容】
- ①ロイロノートを活用して、ハートメーターを作成させ、全員で共有する。
 - ②ロイロノートを活用して、意見を提出させ、全員で検討する。
 - ③amboardを活用して、意見をプロットさせ、全員で分布を確認する。
 - ④テキストマイニングを活用して、感想を共有する。

【使用アプリ】 Jamboard、ロイロノート、テキストマイニングのサイト

【事例紹介】 ①子どもが、ロイロノートのカードにハートを描く。温かな気持ちはピンク、冷たい気持ちは水色でハートを描く。大きさで、度合いを表す。大型提示装置で共有し、友達の考えを知る。

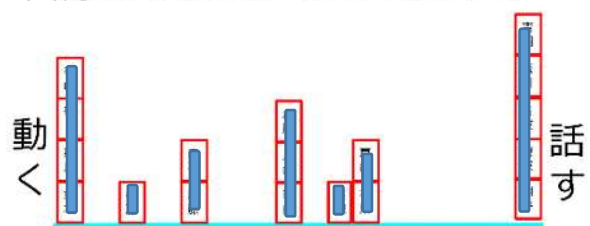


②子どもが、ロイロノートのカードに意見を書く。温かな気持ちはピンク、冷たい気持ちは水色で書く。色を分けることで、一目で見て、賛成か反対の意見が分かる。

<p>まさるにさんせいです。りゅうはちょうがかわいいそうだからです。</p>	<p>まさるにさんせいです。りゅうは、くもはこばえとかかんたんにつかまえるからです。</p>	<p>まさるにさんせいです。りゅうは、生まれてきたのにたべるのはだめだからです。あとかわいいそうだからです。</p>	<p>まさるにさんせいです。りゅうは、くもは人をかむしがいのある虫だからです。ちょうちょうはがいのあるものがすくないからくもはがいがあるものが多いからです。</p>
<p>まさるくにさんせいです。理由はかわいいそうだからです。</p>	<p>よしおにさんせいです。理由は、クモもなにか食べないと死ぬからです。</p>	<p>よしおにさんせいです。りゅうは、クモを、生きさせるため。</p>	<p>よしおにさんせいです。たしかにクモのえさがないのもいけないからチュウを食べらすのもありだともいいました</p>
<p>よしおにさんせいです。理由くもだって生くもだってきてるからころしたくは、ありません。</p>	<p>まさるにさんせいです。なぜかというくもよりもちょうちょうのほうがかわいいからです。</p>	<p>まさるにさんせいです。理由は、かわいいそうです。まえに保育園でかつたことがあるからです。</p>	<p>まさるさんにさんせいです。理由は、チョウチョがかわいいそうだからです。クモもかわいいそうだけどたべられるチョウチョのほうがかわいいそうだからです。</p>

③教師が、Jamboardに意見をプロットできる図を作成する。教師が共有をかける。子どもが自分の意見の場所に名前をプロットする。途中で意見が変わった場合は、別の場所へプロットさせる。

自分だったら、どうしますか？



- ④子どもが、感想をFormsで入力し、教師が集めるか、spreadsheetに共有をかけるかして集める。教師がテキストマイニングのサイトに入力し、テキストマイニングをする。テキストマイニングしたものを大型提示装置で示し、それを見ながら最後のまとめをする。

【解説】

道徳科の授業

パーツのいくつかをICTを活用して、紙や黒板ベースから、デジタルベースに置き換えることが、考え、議論する道徳科の指導目標に寄与すると考えます。



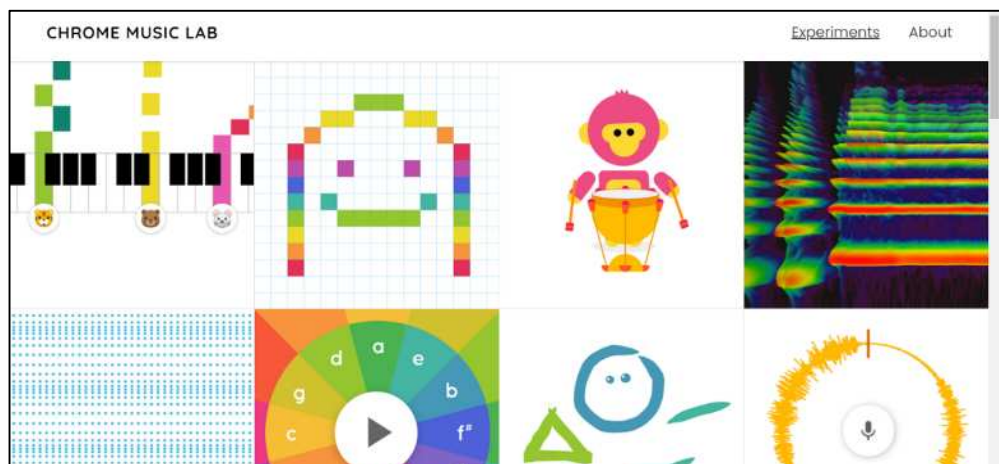
〈事例2〉

【題材名】 音楽科「音の重なりを感じ取ろう」「いろいろなリズムを感じ取ろう」「リコーダーの響きを感じ取ろう」

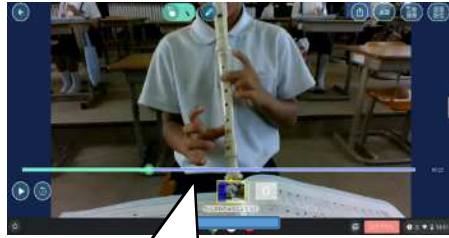
- 【内容】
- ①Chrome Music Labを活用して、音楽づくりへの関心を高める。
 - ②ロイロノートを活用し、見本動画を教師が、演奏動画を子どもが送る。
 - ③ロイロノートを活用して、教師が送った自己評価カードに、入力をして、提出させる。

【使用アプリ】 Chrome Music Labのサイト、ロイロノート

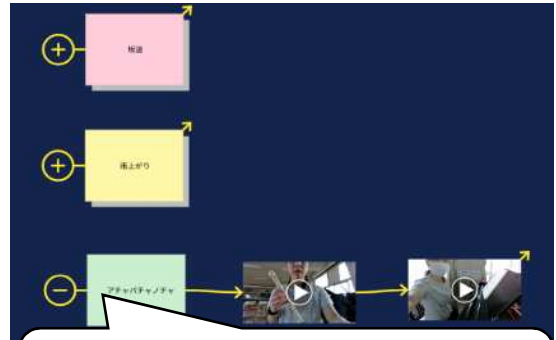
【事例紹介】 ①教師が、Chrome Music LabのサイトのURLをロイロやClassroomで子どもへ送る。サイトの中の様々な音楽づくりを体験させる。



- ③教師がリコーダーの見本動画や、伴奏動画を送る。子どもはその動画を見て、運指の練習をする。音程が変わらず、速度だけが変わる機能があるので、自分の能力に合わせた個別最適化された学習ができる。

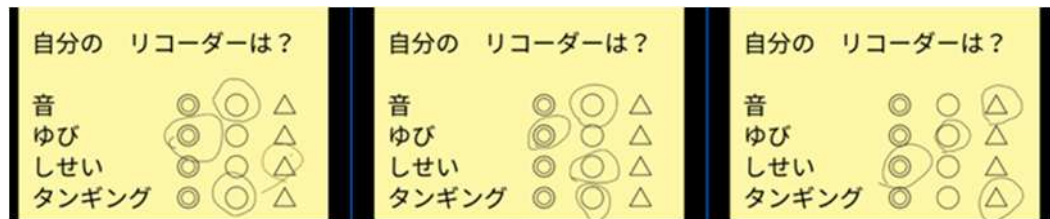


動画なので、自分の演奏を聞くことができ、振り返りができる。



数種類の曲を用意して自分のペースで学習できる。

③教師が自己評価カードを子どもに送る。子どもが、自己評価に書き込み、教師に送る。教師は指導評価に、子どもは、振り返りや学習のログとして活用する。



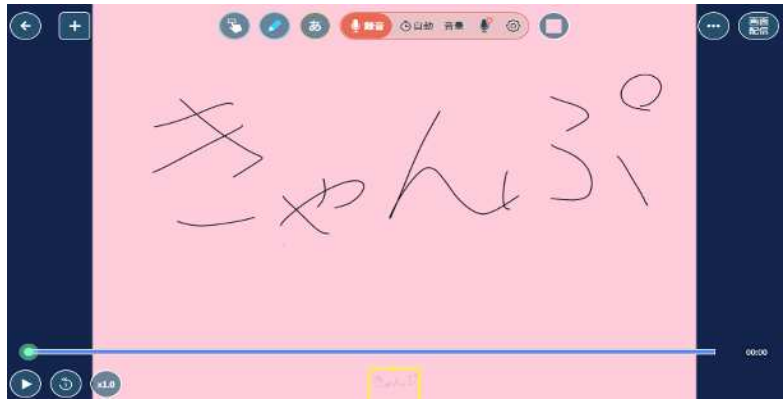
〈事例3〉

【題材名】 「構音指導」(通級指導教室)

【内容】 ロイロノートを活用し、発音をメタ認知できるようにする。

【使用アプリ】 ロイロノート

【事例紹介】 ロイロノートの録音機能で、子どもの苦手な発音を録音し、聞く。自分の音声を聞くことで、メタ認知を促す。



【解説】 構音がある児童にとって、自分がどんな発音をしているのかはわかりにくい。実際に自分の発音を聞くことによって、どんなことに気を付けるといいのか気付くことができる。

(教育委員会主幹講評) 意見共有、振り返りのツールとして、ロイロノートを上手く活用していて大変参考になります。テキストマイニングは、児童生徒の意見を集約して「見える化」するのに効果的なツールです。授業の最初と終わりの感想をテキストマイニングすれば、心情の変化が「見える化」できそうです。Chrome Music Lab も紹介していただきました、先生方も一度使ってみてください。金生第一小学校のICTの利活用が、かなり進んでいることが伺えました。今後も更なる実践をお願いします。